

研究課題「副鼻腔炎と気道壁肥厚の関連の探索研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

・2011年1月1日から2016年5月31日に副鼻腔CTおよび胸部CTを撮影した方

2. 研究目的・方法

アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎と気管支喘息の関連性や、慢性副鼻腔炎と慢性下気道感染を主体とする副鼻腔気管支症候群など上気道疾患と下気道疾患には強い関連があるとされていますがその詳細については明らかになってはおりません。近年、胸部CTにより測定された気道壁肥厚が、喘息患者さんの重症度やCOPD患者さんの肺機能と関連しているという報告があり、この手法を用いて、客観的に気道病変を評価できる可能性が示されています。そこで、本研究ではこの手法を用いて、副鼻腔炎患者さんの気道壁厚を評価し、気道病変の有無に関して探索的に検討することにしました。

具体的な方法は、2011年1月1日から2016年5月31日に当院で、**副鼻腔CTおよび胸部CTを撮影した方**を対象に、副鼻腔炎についてはLund-mackay scoring system (LMS) を使用し副鼻腔炎の有無と重症度を、気道病変に関しては胸部CTから解析ソフト (Zinostation ver2.1.x) を用いて気道壁の測定を行い評価し、その関連を調べます。また、診療情報から得られる肺機能や血液検査、既往歴などの臨床情報との関係についても調べます。

この研究の研究期間は、2016年7月4日から2017年6月30日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究に用いる試料はありません。この研究に用いる情報として、年齢、性別、副鼻腔CTによる副鼻腔炎所見、胸部CTによる気道壁厚、胸部CT所見、血液検査所見、肺機能検査所見、既往歴等があります。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 若原恵子（研究責任者）

（電話 052-744-2167、ファックス 052-744-2176）